

庁議 議事概要

- 1 日 時 令和4年3月28日（月） 10時30分 ～ 11時00分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、副市長、病院事業管理者、教育長、局長、危機管理監、総務局次長、中央区長、議会事務局長、市長公室長、総合政策部長
- 4 議 題 第1次実施計画策定方針（案）について **【方針決定】**（総合政策局）

[決定事項]

千葉市基本計画に基づく第1次実施計画の策定方針（案）について、別紙のとおり決定する。

総合政策局長 ～資料に沿って説明～

（質問・意見等）

- 総務局次長 今後、この方針に基づいて、各局で計画事業を立案・推進する際は、デジタル化を積極的に取り込んでいただきたい。
そして、情報経営部としても、デジタル化への取り組みを積極的に支援していきたいと考えているので、何かあれば相談してほしい。
- 中央区長 策定方針にプラットフォームという表現がある。
デジタル系のものにプラットフォームという表現を使っているように思うが、そういう意味なのか、それともそうではない意味で使っているところもあるのか。
- 総合政策局長 このプラットフォームという言葉は非常に難しい。基本計画の案の中で、込められた思いとしては、システム化だけではなく、幅広くシステム作りという意味もあると考えていただきたい。
特に、地域活動やボランティア、支え合いといったことを頭に出しており、いわゆるソフト事業について、しっかりとした仕組みを作っていくためのプラットフォームということになり、言葉遣いとしては幅広く出しているところである。
実施計画の中で具体的なものを出していきたい。
- 環境局長 環境局で来年、カーボンニュートラルを踏まえ、実行計画の付議を予定している。
環境局だけでは計画の実施に限界があるので、全庁的に環境面についても配慮いただきたい。また取り組みについて、提案をいただくと助かる。
- 総合政策局長 実施計画を策定する中では、個別計画との調整も出てくると思う。
ぜひ、庁内の知恵を結集する形で、個別計画についてもしっかりと共有していくことができればと思う。

市長

これまでも繰り返し言っているが、デジタル化と環境面の脱炭素化については、総務局や環境局だけに限られたことではない。

全ての業務に関わってくる場合があり、脱炭素化とデジタル化については、意識して事業の洗い出しをしてもらいたい。

もう一つは、支援対象になる方の意見や受け止めを踏まえてやってほしい。

特にコロナ禍で、状況も大きく変わってきており、具体的事業を整理していく中では、事業の対象となっている方々の変化にも十分気を付けて、具体的に話を伺い、事業に反映してほしい。

いくつか意見があった。これらを踏まえて、策定方針を決め、実施計画の策定を進めていただきたい。議題については、方針決定とする。

— 結果 —

本会議の意見等への対応を前提に、方針決定とする。

5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043(245)5056

- ・議題について

総合政策局総合政策部政策企画課

TEL 043(245)5053